

(○)「第17回在宅医療推進のための連携・スキルアップ研修会」の開催について

宮崎市郡在宅医会

宮崎市郡在宅医会では、「第17回在宅医療推進のための連携・スキルアップ研修会」をハイブリッド方式により、下記のとおり開催いたします。

今回の内容は、「腎不全・透析患者の在宅医療」についてです。

日本では高齢化に伴い、以下の変化が生じています。腎不全・透析患者の①増加、②高齢化、③通院困難のため在宅医療に関わる機会の増加です。①透析患者数は過去25年で2倍以上に増加し(1996年 約16万人→2021年 約35万人)、②最も割合が高い年齢層は、男性が70～74歳、女性は80～84歳、③血液透析患者(特に送迎が必要な要介護度の高い患者)の非透析日・夜間のサポートが求められています。また、腹膜透析患者に関しては、高齢や認知機能低下などで自力での継続が難しくなっても、透析治療が自宅で継続できるようなサポートが求められています。また、透析を導入しない決断をした腎不全患者や差し控え(中断)を行った腎不全患者に関わり、看取る機会も増えてきています。

今回は、病院の血液透析室開設や腹膜透析・腎移植後外来など腎不全の診療に携わってこられ、現在は在宅での腎不全・透析患者の診療に尽力されている、ひなた在宅クリニックの眞川昌大先生をお迎えして、連携を軸に腎不全という「非がん」患者さんをどのように在宅医療で支えるかについて講演して頂きます。また、現地会場では講演終了後に実地演習(腹膜透析、血液透析の長期留置型カテーテルの管理)も行います。

先生方、医療スタッフの方々に加えて、多職種の皆様のご参加をお待ちしております。

記

- 1 日 時：令和5年12月14日(木) 19:00～20:30  
(質疑応答ならびに実地演習を含む)
- 2 会 場：宮崎市郡医師会館 1階 講堂
- 3 方 法：ハイブリッド方式 (会場50名+WEB配信：Webex Meetings 使用)
- 4 講 師：ひなた在宅クリニック (宮崎市中心通3-51 東京庵ビル3階)  
眞川昌大 先生  
演 題：「腎不全・透析患者さんを在宅でいかに支えるか～多職種連携の重要性～」

※日本医師会生涯教育講座 1.0 単位 CC:80(在宅医療)

### ※申込み方法

[会場参加希望の方]

- ① 別紙：申込用紙で FAX または 会場参加用 QR コード からお申込み下さい。

○会場参加用 QR コード →



[WEB 参加希望の方]

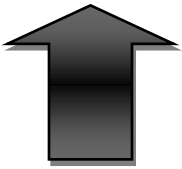
- ② 別紙：申込み用紙で FAX または WEB 参加用事前登録 QR コード からお申込み下さい。

○WEB 参加用事前登録 QR コード →



**申込締切：令和5年12月8日(金)17:00 まで**

※お問合せ先： **地域包括ケア推進センター** (宮崎市郡医師会病院内)  
TEL 0985-77-9106  
FAX 0985-77-9126  
E-mail : [care-suisin@cure.or.jp](mailto:care-suisin@cure.or.jp)



お申込み FAX 番号

**0985-77-9126**

E-mail アドレス

**care-suisin@cure.or.jp**

※必ず医療機関・事業所名をご記入ください

第17回在宅医療推進のためのスキルアップ研修会申込用紙

**医療機関・事業所名：**

※必要項目をご記入の上、Web希望の方はE-mailアドレスを必ずご記入下さい

参加者氏名	職種	会場参加	Web参加	E-mailアドレス

※ひとつのアドレスで複数人視聴する場合は、全員の氏名を記入して下さい。

終了後に、参加状況を確認させていただくことがありますのでご協力をお願いします。

※会場は先着50名で締め切らせていただきますので、ご了承下さい。

- 日時 : 令和5年12月14日(木) 19:00~20:30  
(質疑応答ならびに実地演習含む)
- 会場 : 宮崎市郡医師会館 1階 講堂
- 方法 : ハイブリッド方式(会場50名+WEB配信(Webex使用))
- 演題 : 「腎不全・透析患者さんを在宅でいかに支えるか~多職種連携の重要性~」  
講師 : ひなた在宅クリニック 眞川昌大 先生

※申込締切：令和5年12月8日(金) 17:00まで

お問い合わせ先：地域包括ケア推進センター 担当 井本 吉田  
TEL 0985-77-9106 (直通)  
FAX 0985-77-9126 (専用)  
E-mail:care-suisin@cure.or.jp